

今号の特集テーマは「脊椎脊髄外科におけるモニタリング」です。脊椎脊髄手術での術中神経モニタリングは、保険点数で高い点数が認められるようになったこともあり、急速に普及しつつあります。しかし、本特集でも何人かの著者が強調するように、アラームポイントを安易に設定すればそれでよしというものではなく、偽陽性の問題など簡単ではありません。また、高い保険点数と、合併症発生時の言い訳（日本ではまだそれほどでもないが訴訟対策）のために、とりあえずやってさえおけばよいとして、十分な知識もなく、不十分な技術で行われるモニタリングが広まっているのではという懸念も消えません。このような状況で、各関係学会はモニタリングの質の向上のための努力を絶えず行っていることは特筆されます。特に私の深く関わる日本臨床神経生理学会は、元来 MEP や SEP などモニタリングに用いられる手法についての専門学会で、日本における術中脊髄モニタリング草創期の研究者は、この学会を主要な活躍の場として世界をリードする成果を発表してきました。ですので、今日の術中モニタリングの急速な普及においてもその quality control には日本臨床神経生理学会がまずは責任をもつべきと考えており、本特集の執筆者の1人である関西医科大学齋藤貴徳教授を委員長とした術中脳脊髄モニタリング委員会において、術中脳脊髄モニタリングセミナーを当学会主催で開催し、ガイドライン策定にも取り組むなど、モニタリングの質向上を当学会の最重要課題の1つと位置づけています。目的は、より安全な手術の施行、患者さんの術後 QOL の向上であって、あくまで1つです。日本脊椎脊髄病学会、日本脊髄外科学会などの関係各学会とも密接に協力しながら、日本のモニタリングの質の向上を目指したいと考えています。

最後に手前味噌になりますが、今年の11月8日（木）～10日（土）の3日間、東京お台場（近接）の東京ファッションタウン（TFT）ビルにおいて、日本臨床神経生理学会学術大会を主催させていただきます。今年の学術大会では、特に脳波・筋電図などの教育に大きな力を注いでいますが、術中脳神経モニタリングについても、かつてなかったほどの多数のシンポジウム、教育講演、ベーシックレクチャーを計画しており、当学会の「モニタリング元年」と自負しています。「お台場に来れば脳波と筋電図&モニタリングがわかる・できる」がキャッチフレーズです。当日よりもお安い事前登録をすでにオープンしています。皆様どうぞお誘い合わせのうえ、お台場学会に多数ご参集いただきましたらたいへん嬉しく存じます。どうぞよろしく願いいたします。

（園生雅弘）

脊椎脊髄ジャーナル

編集顧問

長島親男 小野啓郎 萬年 徹
高橋 昭 金田清志 小山素磨
小柳知彦 田代邦雄 国分正一
服部孝道

編集委員

徳橋泰明（編集委員長）
金 彪（副編集委員長）
青木茂樹 亀山 隆 園生雅弘
高橋敏行 高安正和 田口敏彦
谷 論 中村雅也 根尾昌志
飛驒一利 松山幸弘 山崎正志

Vol. 31 No. 7

（2018年7月25日発行）

毎月1回25日発行

1部定価（本体2,300円＋税）

（配送料別）

年ぎめ予約購読料 30,700円＋税

送料弊社負担

発行／株式会社 三輪書店
代表者 青山 智

〒113-0033

東京都文京区本郷6-17-9

本郷網ビル

TEL 03-3816-7796

FAX 03-3816-7756

URL <http://www.miwapubl.com/>

（担当：山岸）

印刷所／三報社印刷株式会社

TEL 03-3637-0005

広告申込所／

（株）文栄社

TEL 03-3814-8541

（株）ハイブリッジエージェンシー

TEL 03-3814-0089

本誌の内容の無断複写・複製・転載は著作権・出版権の侵害となることがありますのでご注意ください。

Published by MIWA-SHOTEN Ltd.
6-17-9 Hongo, Bunkyo-ku, TOKYO © 2018,
Printed in Japan

〔JCOPY〕〈出版者著作権管理機構 委託出版物〉

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構（電話 03-3513-6969、FAX 03-3513-6979、e-mail: info@jcopy.or.jp）の許諾を得てください。